

古賀千景参議院議員の自衛隊に関する発言に対する抗議決議

令和8年6月15日に開催された参議院決算委員会において、古賀千景参議院議員が「経済的に厳しい子どもたちが自衛隊に行く」「豊かな子どもたちは自衛隊とかなりません」など、自衛隊の入隊と経済的事情を結び付ける趣旨の発言をした。これらの発言は、国防や災害救助に命を賭して励んでいる自衛官とその家族を侮辱するものであり、また国を護りたいという使命感、災害救助、復興支援など公的な貢献への強い思いを持って志願してくる若者たちの純粋な動機を踏みにじるものであり、決して看過できない。古賀千景参議院議員は発言直後に訂正を申し出たとはいえ、その言葉によって自衛官とその家族、自衛官を志す若者の名誉と尊厳を傷つけた事実は消えない。

国会議員には憲法により発言の自由が保障されている一方で、その発言には大きな社会的影響力と重い責任が伴う。今回の発言は、その責任を十分に踏まえたものとは言い難く、自衛官及びその家族の尊厳を傷つけたことは極めて遺憾である。

よって、嘉手納町議会は、今回の発言に対して厳重に抗議するとともに、下記の事項を強く求める。

記

- 1 自衛官及びその家族が抱いた不安や失望を真摯に受け止め、同様な誤解や偏見を助長する発言が繰り返されないよう努めること。
- 2 本件を重く受け止め、自衛隊及び自衛官に対する理解の促進と信頼の向上に努めること。

以上、決議する。

令和8年8月24日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先) 古賀千景参議院議員